

		音 楽 研 究 会		部 会 記 録	
日時	平成 29 年 6 月 7 日 (水) 15:30~16:45				
部会名	研修部 授業実践部会			主任	今泉 美保
参加数	42 名	司会	今泉 美保	記録	森野 淳
研 修 内 容	<p>「歌唱指導研修」</p> <p>講師：横浜市立瀬谷小学校 杉田 桂子先生</p> <p>提案：横浜市立高舟台小学校 今泉 美保先生 場所：横浜市立桜岡小学校 音楽室</p>				
	<p>形式は模擬授業形式とし、適宜講師の杉田先生からご指導をいただく形で行った。</p> <p>「全体の響きを聴いて歌おう」星の世界</p> <p>○全体を通して歌う</p> <p>伴奏をオルガンに録音している場合は、オルガンから離れて児童の周りに動いていくとよい。</p> <p>「もっと盛り上げていこう」「いいね」などの声掛けをしてあげるとよい。</p> <p>また、歌い終わったあとに「上手に歌えたね」ではなく「どんなところに気をつけて歌ったか」と発問するなど何かしらの刺激を与えてあげるとよい。このような活動を繰り返していくことで児童の気づきが多くなる。</p> <p>○音の重なりを感じとって歌う</p> <p>オルガンの伴奏に「2」や「3」のパートを入れて、児童にそれらのパートを聴きながら歌わせる活動は、児童の中に「2」や「3」のパートが入っている必要がある。さらにオルガンの中の音は聴こえづらいので、このような活動よりも曲想等に児童の意識を向ける指導ができるとよい。</p> <p>○副次的な旋律を歌う</p> <p>今泉先生が一人で歌ったあとに、気づいたことを発表させる</p> <p>「同じリズムで音が重なっている」「同じ音が続いている」という意見がでた。</p> <p>このとき、リコーダーで副次的な旋律を演奏するなど授業の中で歌唱のなかにリコーダーの活動を入れると児童が飽きずに取り組める。歌うだけでなく、工夫できるとよい。</p> <p>○オルガン伴奏の音を減らして「2」のパートを歌う（今泉先生はだいたい5回くらいで音がとれるように指導されている。）「もう大丈夫！」と思う人だけ立って歌う。</p> <p>「どこの音がとりにくかった？」という発問が大事。「ここがとれていないよ」ではない。</p> <p>こうすることで、児童がしっかり聴くようになり、「ここができない」と言いたくなる。</p> <p>このあとの指導で、今泉先生は児童に聴き合わせながらしっかり歌えているか確認する活動を入れている。（2人組、3人組をつくる）</p> <p>○聴き合う活動</p> <p>音が重なるところでは、ロングトーンで音が正しく響いているか確認する。3回できれいにハモったら OK だよ、などの声かけをしながら行うといい。何度も繰り返すような活動なので、児童がいかに関心をもって取り組めるかが重要。</p> <p>○教師と少人数の子ども、その他の児童とのアンサンブル</p> <p>自信をもって歌うことができるこどもを前に出して教師と一緒に歌う</p> <p>最初のうちは、それぞれのパートごとのかたまりをつくって、境目はあけるようにする。</p> <p>最初の音をロングトーンしてみても、音の重なりを聴かせるといい。パートごとにロングトーンをして、重ねていく。重ねてきれいに響くことが分かれば一音でも十分である。</p>				

模擬授業形式はここで終了

ここからは瀬谷小学校4年生から6年生までの授業で必ず歌っている「つばさをください」のビデオを鑑賞。1番は斉唱、2番が合唱のパターン。どの学年も間奏の部分で自分が歌いたいパートに移動して歌う。

同じ曲でも明らかに違いがわかる。最初から上手なところを求めることはせず、少しずつ飽きない程度に慣れていくといい。最初は歌えていないが慣れてくるといい顔をして歌えるようになる。また、声を聴いた瞬間に「今日はだめだな」と思う時があってそれが何回も続くようであれば担任と相談したほうが良い。

質疑応答

・つばさをください、歌えていない子どものモチベーションの上げ方はどうすればいいか？
→出会った時から少しずつモチベーションを高めていくための手を打っておく。

いいものはいい、ダメなものはダメ。6年生になって急にうまくなったりはしない

・積み上げがないまま担当した6年生を輝かせるにはどうしたらいいか。

→交流して良い音をきくだけで変わるので、やってみるといい。

・6年生は明らかに自信を持って歌っている。細かいことは言わずに音楽を流しているがテクニク的なものは日頃どのように指導しているか。もしくは伴奏だけ？

→それは言わないとわからないことなので、3年生に4年生の授業を見に来てもらうかそこだけピンポイントで聴かせるなど。そのようなことをすると自信をもてる。